

痴 呆

金子クリニック 金子 仁 先生

「このごろよく物忘れをするけど、ぼけが始まったんでしょうか？」と、患者さんからよく質問されます。だれでもある程度年をとってくれば物覚えが悪くつてきます。新しい事がなかなか覚えられなくなったり、ちょっとした事が思い出せなくなったりしますが、これらはだれにでも多かれ少なかれ生じるもので、多くの場合老化現象であり、痴呆ではありません。思い出せなかったこともあとになってひょんなことで思い出したりします。

痴呆症では、でき事自体を忘れてしまうのが特徴で、その日にあった事を聞いても「そんなこと知らないよ」という具合で、いろいろ日常生活に支障が生じます。そのほか、性格が変わってしまったり意欲がなくなり好きなこともやらなくなったりします。

痴呆の原因は、アルツハイマー病や老人性痴呆、脳梗塞や脳出血を繰り返した為の脳血管障害性痴呆が多くをしめますが、そのほかに頭のケガのあとしばらくして起こる慢性硬膜下血腫は手術で治りますし、ホルモン異常や髄膜炎、薬物によるものなども適切な治療で回復可能です。また、うつ病が痴呆のような状態を呈することもあります。アルツハイマー病や老人性痴呆にはこれまで有効な治療薬はありませんでしたが、最近症状の改善に有効な薬剤も開発されています。痴呆かなとおもったらぜひかかりつけの先生に一度相談してみてください。
